

やくしの里だより

2025年3月

No. 365

2025.02.19 発行

医)岡谷会 介護老人保健施設
やくしの里
やくしの里広報委員会発行

【3階】餅つき

すっかり1月の定番行事となった餅つきですが、今年は併せて神事も行いました。コロナ感染の為に初詣に行くことができなかったご利用者に喜んでいただけました。BGMを流し、神職に扮した職員が本職さながらに祝詞を読み上げ、大幣を持ってお祓いすると、信心深く手を合わせ1年の無病息災をお祈りしました。その後の餅つきではご利用様が交代で杵を持ち、お餅をついていきます。つきあがったお餅はフロアーに鏡餅として飾り、利用者様には小麦粉で作った疑似餅を食べていただきました。



今年は1月27日に山焼きが行われました。毎年、多くの見物客が訪れる

若草山山焼き

行事ですが、実はやくしの里の3Fフロアーは絶好のロケーションなのです。夕食後18:30頃から始まりを告げる花火があがります。皆さんは居室から出て集まれ、少しの間フロアーの照明を落とし花火を楽しみます。その後、若草山に着火されると、燃え盛る炎に目を奪われておられます。毎年、季節を感じる事ができる貴重な機会です。



昭和11年3月2日京都の相楽郡でお生れになり、御年89歳になられます。結婚後は家族を支えながら、競輪場で勤務されていたこともあったそうです。また、社交的な性格で趣味も多く、編み物や詩吟をなっていたことも。現在でも社交性は健在です。

気取らず、気さくにお話して下さり、スタッフの気持ちをなごませてくださいます。



介護福祉士と退所支援をさせていただいています。

職員紹介

ご利用者の「帰りたい」「家を見に行きたい」等の想いを叶えたく、ご家族様に電話をさせていただいています。家に帰る事が難しい利用者様に関しても、やくしの里がずっといれる施設ではないからこそ、利用者様がよりその人らしく過ごすことのできる終の棲家探しのお手伝いができたらいいなと思っています。唐突の電話に不快感を感じられるご家族様もおられますと思いますが、現場で働く職員として直接感じる利用者様の想いや状態を今後もお伝えしていくつもりです。

コロナの制限が残る中でできない事もあるかと思いますが、その時にできる1番良い形を一緒に考えていきたいので、ふいに余裕ができて「帰ってみようかな」「外出できるのかな」等あれば教えていただきたいです。



2階リハレク行事『鬼追い』

節分にちなみ、鬼と福の神に球を当てるゲームをしました。
 体操で身体を温めたり、節分の由来を話したりして気持ちも温

まったところでゲームスタート。鬼の的を倒したら得点、逆に福の神の的を倒してしまったら減点です。
 倒れた時には歓声が上がリ、競争の効果もあって大盛り上がりでした。




書き初め

「寒いから…」とお正月の初詣には尻込みされていた男性陣も、「書初めなら」と参加
 くださいました。思い思いの文字をしたため・・・どれも味がありますね。



おたんじょうび おめでとう!

出身は 

土佐清水、足摺岬の近く、
 いいところで自慢です。

きょうだいはいません。(一人っ子です)

早くから女中さんをしていました。

成長してからは芸者さんのお茶屋で女中さんをしてね。

夫は遠洋漁業をしていました。

戦争が落ち着いたところに奈良へ。

盆正月は、よくお墓参りに帰省しました。

今思ったら、懐かしい思い出ですね。



職員紹介

初めまして、今年1月より《やくしの里》
 事務長に就任しました、〇と言います。

岡谷会一筋に35年目を迎えております。1997年から
 2010年まで《やくしの里》でケアワーカーをしていま
 した。皆様が、やくしの里に来てよかったと思っていだ
 ける様、一日一日を楽しく過ごしていただける様、そして
 なによりも健康で元気な体を維持していただける様な施設
 でありたいと考えています。

気づかれた事、要望等、気軽にお
 声かけください。
 今後ともよろしく
 お願いします。

愛猫のケロです

